

中心市街地拠点施設整備基本計画策定支援業務委託 公募型プロポーザル

審査結果について

中心市街地拠点施設においては、平成29年度に市庁舎東側を候補地として基本計画が策定しましたが、令和元年度の可能性調査検討業務において、候補地を追加し、より具体的で実現性の高い場所を調査したところ、近鉄四日市駅直近におけるスターアイランド建替案が最も優位性が高いと判断しました。

こうしたことから、スターアイランド跡地に計画する民間施設内に四日市市が整備する新図書館を核とした拠点施設の基本計画の策定及び候補地所有者が計画する民間施設との整合を図り、所有者との協議・調整業務を委託する候補者を選定するため、公募型プロポーザルを実施しました。その結果、下記のとおり、受託候補者を選定しましたので公表します。

記

1 審査結果

受託候補者： 株式会社日建設計名古屋オフィス

2 審査委員会 委員名簿（順不同・敬称略）

委員長	有賀 隆	早稲田大学 理工学術院 教授
委員	佐藤 恒樹	四日市市 政策推進部長
委員	松岡 俊樹	四日市市教育委員会 副教育長
委員	伊藤 勝美	四日市市 都市整備部次長
委員	嶋田 康二	四日市市 都市整備部 建築指導課長
委員	中野 千幸	四日市市 市民文化部 文化振興課長

3 審査日時

第1、2次審査：

令和3年 6月 29日（火）

13時55分～16時20分（出席委員 6名）

※実施要領に基づき参加意向申出者が8社以下であったため、2次審査を1次審査と併せて行いました。

4 審査経緯

- (1) 令和3年 5 月 28 日に実施要領等を公表するとともに公募を行いました。
- (2) 6 月 8 日までの参加申込書類提出期間に、1 者から参加申込書類を受理しました。
- (3) 参加申出者の参加資格要件について確認した結果、要件を満たしていたため、6 月 18 日までの企画提案書類等提出期間に、企画提案書類を受理しました。
- (4) 第1次、2次審査を実施要領に基づき同日に行い、第1次審査では、企画提案書類について審査並びに審議を行い、第2次審査では10分以内のプレゼンテーションと20分程度の質疑応答を実施し、企画提案内容や質疑への対応等について審査並びに審議を実施し、得点評価を行いました。
- (5) その集計結果を踏まえ、株式会社日建設計名古屋オフィスを本件業務委託の受託候補者とするについて、審査委員会において確認を行い、選定に至りました。

5 審査基準

本件プロポーザルの審査にあたっては、審査委員会が別に定めた「中心市街地拠点施設整備基本計画策定支援業務委託公募型プロポーザル評価項目、評価基準及び配点」に従って、厳正な審査を実施しました。

本審査基準については、次のとおり示します

**中心市街地拠点施設整備基本計画策定支援業務委託公募型プロポーザル
評価項目、評価基準及び配点**

○第1次審査
企画提案書類は下記の評点で評価する。
(評点)

A(係数 1.0)	B(係数 0.8)	C(係数 0.6)	D(係数 0.4)	E(係数 0.2)
優秀である。 高度の能力を有している。	満足できる。 十分な能力を有している。	平均的である。	物足りなさを感じる。 能力が若干乏しい。	まったく満足できない。 任せることが不安である。

評価項目		評価の基準		配点
企画提案書類	業務実施方針	実施方針	業務に係る課題認識が適切であり、課題に対する取組姿勢や実施方針が適切に示されているかを評価する。	10
		実施フロー	業務内容を把握し、妥当性のある業務の実施フローを示しているかを評価する。	
	業務工程表		業務量を把握し、妥当性のある工程計画を示しているかを評価する。	10
	特定テーマ1	的確性	候補地所有者との協議・調整において求められる経験・能力を的確に把握したうえで、過去の業務実績から本業務へ活用できる知見や実績が提案されているかを評価する。	30
		実現性	提案内容に説得力があるか、また内容を裏付ける類似実績などが明示されているかを評価する。	30
	特定テーマ2	的確性	中心市街地拠点施設の導入機能について、本市の背景、想定敷地の規模、および将来的な周辺環境の変化等を的確に把握したうえで、具体的に提案されているかを評価する。	30
		実現性	提案内容に説得力があるか、また内容を裏付ける根拠などが明示されているかを評価する。	30
	本業務の実施体制	実施体制の的確性	業務を実施するにあたり、適切な人員を確保しているかを評価する	10
	配置予定者の経歴等	遂行能力	配置者について、管理者および主担当者は十分な知見と経験を有しているかを評価する。	35
	参考見積	コストの妥当性	提案内容に対し、妥当な見積金額を提示しているかを評価する。	5
評価点				190

○第2次審査

ヒアリングは下記の評点で評価する。

(評点)

A(係数 1.0)	B(係数 0.8)	C(係数 0.6)	D(係数 0.4)	E(係数 0.2)
優秀である。 高度の能力を有している。	満足できる。 十分な能力を有している。	平均的である。	物足りなさを感じる。 能力が若干乏しい。	まったく満足できない。 任せることが不安である。

評価項目		評価の基準		配点
ヒ ア リ ン グ	専門技術力	専門技術力の確認	質問を通して、該当分野についての専門性が高いかどうかを評価する。	20
	取り組み姿勢	業務への取組意欲	企画提案に関する補足説明が明確で、業務に対する取組意欲が強く感じられるかどうかを評価する。	20
	コミュニケーション力	質問に対する応答性	質問を通して、応答が明快、かつ迅速かどうか評価する。	20
評価点				60

6 選考理由

本プロポーザル参加者である株式会社日建設計名古屋オフィスは、本業務委託と同種又は類似の業務実績を多数有しており、民地における公共施設の企画、建築提案を含む総合的な専門技術を有していることが評価されました。

加えて、建築分野に限らず、図書館を誘導施設に位置付けた立地適正化計画等を踏まえた複数分野にまたがる課題や計画についての協議・調整、及び実行のための業務管理能力を十分に有していることが評価できました。

以上により、株式会社日建設計名古屋オフィスが本業務を受託するに十分な能力があると認め、受託候補者として選定しました。

7 最後に

第1次審査及び第2次審査を実施し、受託候補者に十分な業務遂行能力があることを確認したうえで選定に至りました。

一方で、企画提案では、敷地規模・形状、立地の特殊性を踏まえた新しい公共施設の提案が抽象的レベルでとどまっていたことから、受託候補者の実績や技術に裏付けられた新規性・独創性のある提案をいただきましたことです。

加えて、近鉄四日市駅前に図書館を整備するという意義を十分に認識し、近鉄四日市駅周辺等整備事業による周辺環境の変化や近年増えている駅周辺の居住者等を踏まえ

た、従来の図書館利用者に留まらない新たな利用者像の把握や、それを受け入れるための魅力的な施設の提案もしていただきかったところです。

いただいた提案は魅力的なものでありましたが、受託候補者の多くの実績や総合的な専門技術力を生かし、今後さらに魅力的な提案をされていくことに期待しております。

最後に、本プロポーザルに対して真摯に取り組まれ、貴重な時間と労力を費やし御参加いただいた提案者に敬意を表すとともに、審査に多大なるご協力とご尽力をいただいた選定委員各位並びに関係者の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

令和3年6月29日

中心市街地拠点施設整備基本計画策定支援業務委託公募型プロポーザル審査委員会
委員長 有賀 隆